

呈 欄	教育長	部 長	次 長	課 長	補 佐	係 長	館 長	館 員
								   

令和6年度第1回名取市図書館協議会議事録

日時	令和6年6月27日(木) 午後3時～4時
場所	増田公民館 研修室2
出席委員	5名 大沼あゆみ委員 齋藤勇介委員 松本真奈美委員 今野一弥委員 本望初枝委員
事務局出席者	名取市教育委員会 教育長 瀧澤信雄 名取市図書館 館長 加藤孔敬 " 司書 大宮佳奈 " 主幹 鈴木香奈恵
傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開会

2 辞令交付

委員へ教育長より辞令交付。

3 教育長あいさつ（瀧澤教育長）

委員の皆様には、梅雨に入り、暑い中、またお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。

今年度に入り、名取市では熊の目撃情報が多く、5～6月で13件、確認されている。幸い今のところ人的被害は無いが、皆様には十分注意していただきたい。

名取市図書館は、平成30年12月にオープンし、6年目を迎える。来館者数については、コロナ禍に一時的にかなり減少したが、最近は回復しており、年間30万人に近い来館者数になっている。コロナ禍後、来館者が増加したのに、貸出冊数が減少するという現象が起きた。原因としては、コロナ禍には沢山本を借りて、自宅で読む方が多かったのに対して、コロナ禍後には、図書館に来て、ゆったりと本を読む方が増えたところにあると思う。

また、名取市図書館では、名取市図書館友の会・なとと(ボランティア団体)が活発に活動している。

会員数百数十名。常時 20 人～30 人が様々な活動をしており、図書館イベントのお手伝いをしている。先日、図書館こどもまつりがあったが、などとの若い学生(尚絅大学の学生等)が協力していただき、などとは、図書館には欠かすことのできない存在となっている。などとの協力もあって、名取市図書館ではユニークな様々な事業を行って、イベントも多彩なものを行っている。よりよい図書館を目指すために委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、活動に取り入れたいと思っている。本日は、皆様それぞれの専門的な立場からご意見をいただければと思う。

4 委員紹介・職員紹介

5 会議成立の確認

名取市図書館条例第 11 条第 2 項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立していること報告。併せて、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条の規定により、公開の対象となることを報告。

6 会長・副会長の互選

会長・副会長について、条例第 10 条第 1 項の規定により委員の互選。

会長 松本委員、副会長 大沼委員 に決定。

7 会長あいさつ(松本会長)

ただいま会長を仰せつかった松本です。行き届かないところもあるかと思うが、どうぞよろしくお願いいたします。

8 議事

条例第 11 条第 1 項の規定により、松本会長が議長となり議事を進行。

(1) 令和 5 年度事業報告について

① 資料に基づき大宮司書説明。

② 行事等について、スライドショーにて大宮司書説明。

松本議長

主に 40 歳以上の利用者が増えており、若年層についても工夫をし、貸出数が増えている年代があるということが分かった。事業実施状況はスライドを活用して、目に見える形での報告をいただいた。

では、委員に意見・質疑を求める。

大沼委員

とても分かりやすいスライドで、取り組みが素晴らしいと思い、感動しながら聞いていた。人生 100 年時代と言うことで、50～80 歳の利用者が増えているとのことだったが、この年代の方達が好んで読んでいる本等、更なる分析はしているのか。

また、あらゆる人にとって居心地の良い図書館を目指しているという話があったが、それは学校でも目指しているところである。どのようなことに気を付けて運営や来館者対応をしているのか伺いたい。

加藤館長

50 歳以上の方については、時代小説の利用が多い。また、文字が大きい大活字本を好んで読まれている。女性には料理、手芸の本が親しまれている。また、人生の学び直しに図書館を利用している方もいる。介護、生活、健康に差し迫って利用している方もいる。

もう一つのご質問の、居心地の良い図書館作りに気を付けていることだが、図書館には様々な世代の方が来館し、親子連れも多いが、職員はなるべく子供の目線に立って声掛けしている。また、高齢者の方にも、知りたい情報を聞き役になって、コミュニケーションを丁寧にすることを心掛けている。

齋藤委員

きめ細かなご対応ありがとうございます。映像を見ても、1つ1つの取り組みの工夫や参加している方々の楽しみにしている思いが伝わるなど楽しく拝見した。若年層の利用が少なくなっているが、この世代の親世代が、子育てや仕事で自分の時間を取るのが難しいと思う。なかなか図書館に来る時間や本を読む時間を取れないのかなと感じた。その反面、公民館の利用が増えているところがある。もしかしたら、何かの講座等、本を借りるのは別な用事で公民館に行った時に、本を借りている可能性があると思う。そのようなところが、この年代の読書の促進のキーになると考える。特に下増田公民館の本の貸出が増加している。昨年、公民館と児童館の合築があったので、本に触れやすくなったのではないか。このように、子育て支援拠点施設で保護者の方が本を手にとれるような連携をしてはどうか。

教育長

貴重なご意見ありがとうございます。若年層の利用が少ないことは、公民館の課題でもある。子育て世代、子供達の利用が少ないので、多世代が交流できるような計画、取り組みをしている。下増田は、合築の効果がある。このような工夫をして、図書館だけではなく、公民館、学校図書館の利用も増やしていきたい。

本望委員

沢山の催しものを計画してくださり、ありがとうございます。ここ最近、来館者数が増加したことを、身を持って体感しており、嬉しく思っている。子供達に本を通して感情を育ててもらうことが大事だが、その環境には違いがあり、小学校1年生時には、すでに差ができてしまっている。各ご家庭で本に触れさせるのが難しいのであれば、公的な場所で本に親しんでもらうことができれば良いと思う。公民館や児童センターに来る親御さんのお子さんについては心配していないが、来られない親御さんのお子さんにも本に親しんで欲しい。それが課題であり、待つばかりではなく、こちらからの対策が必要だと感じた。

また、絵本を沢山購入しているようだが、大型絵本の割合はどのくらいか。今年度、来年度購入していただけるのか。

加藤館長

今後、利用が多く、壊れているものを買い換えたい。ロングセラーや、心の糧になるようなものに出会えるように準備したい。子ども達には、発刊が古くとも本としては新しいものを手に取ってもらえるようにしたい。また、大型絵本については、これからも継続して購入していきたいと思っている。

今野委員

事務局からの説明を聞いて、取り組みの努力に関心した。

ティーンズコーナーの話があったが、仙台高専の学生は 13～15 歳の貸出数が増えている年代には当てはまらず、沢山本を借りている訳ではないかもしれない。ティーンズコーナーで仙台高専の学生が本をお勧めしている効果にはどのようなことがあるか。仙台高専でオープンキャンパスをすると、高専の図書館に立ち寄る中学生が多く、図書館への注目度が高いと感じる。

名取市図書館で講座等を開催するにあたり、是非ご協力したいので、お声掛けいただければと思う。また、高専の図書館の蔵書も多くなってきているが、名取市図書館への本の寄付は可能か。

教育長

講座については、日程等が合えば、是非願います。

加藤館長

仙台高専からの図書の寄付については、データが古いものと受け入れが難しい。普遍的なもの、教科書的なものについては、見せていただき判断させていただく。

松本議長

他に意見・質疑はないか。

委員

なし

(2) 令和 6 年度事業計画について …資料に基づき大宮司書説明

松本議長

館長から補足説明等あるか。

加藤館長

お手元にある資料で、追加事業計画として、来館日ビンゴカードがある。委員の助言どおり、各児童館に配布したい。また、小、中、高、高専、各学校に図書館利用案内のチラシを配布している。Wi-Fi 無料等、図書館の快適さをアピールしている。加えて、今年度から、新規に住民登録する住民にも、図書館の利用を勧めるチラシを、市民課を通して配布している。

松本議長

令和6年度事業計画について、従来の取り組みから、更に外に打って出るような新たな取り組みをしていることが分かった。

では、委員に意見・質疑を求める。

今野委員

今年度も昨年度同様、様々な取り組み、アイデアに関心する。新規事業で、ご協力できれば嬉しい。是非お声掛けください。

本望委員

今年度、前年度より更に工夫されており、関心している。などではお話しボランティア養成講座を開催する。皆さんに本を好きになって欲しいと思っている。

齋藤委員

図書館の利用案内のチラシが大変良いと思う。PRしていることが、学生のニーズに合っている。このことは、学生のみならず、企業にもPRできるのではないかと。可能性が広がるアクションだと思う。また、来館者ビンゴカード等、楽しいアクションがあると、本に触れたり、本を好きになるきっかけになる。

大沼委員

学校にチラシを配布していただき、感謝する。本が好きな子達は図書館に通っているが、本が好きではない子を、どのように本に親しませれば良いかが課題だと感じている。学校では、玄関に新聞の切り抜きを貼り、生徒がどう思うかを色分けしたシールで貼って表すなど、少しでも活字に触れる取り組みを行っている。今後も図書館の取り組みを参考に、学びたいと思っている。

加藤館長

委員より、図書館が企業の方も利用できるのではないかと意見をいただき、さっそく採用させていただく。来館者ビンゴカードも多くの方に配布したい。学校での気持ちをシールで表す取り組み等、図書館でも学ばせていただき、取り入れたいと思う。こちらをご指導をお願いします。

教育長

チラシにもある通り、夏涼しく、冬温かいのはPRになる。図書館、公民館、文化会館等は、時期が来るとクーリングシェルターにもなり、のぼりもたてている。

子供への対策としては、名取市では昭和 40 年代から学校司書を配置している。そのおかげもあってか、名取市の小学生の読書率は、全国平均より高くなっている。司書がいることでプラスになっていることも多いが、学校の先生が本のことについては司書に任せっきりになり、生徒に本を親しませる意識が弱くなってしまう面もある。とは言え、学校には司書が必要であるので、引き続き対処したい。

松本議長

他に意見・質疑はないか。

委員

案のとおりで、異議なし。

(3)その他

加藤館長

お手元に配布した「ようこそ名取市図書館へ」と書かれている利用案内だが、以前は、皆さんにA4サイズをさらにカットして、A5サイズにした活字の小さいものをお渡ししていた。昨年度、ユニバーサルデザインと言うことで、字を大きく、ふりがなを振り、子どもも、高齢者の方も、障がいを持った方も、様々な方が読みやすいものを追加して作成し、ご入り用な方にお渡ししている。

松本議長

お気づきの点はあるか。
なければ終了とする。

委員

なし。

6 副会長あいさつ(大沼副会長)

本日は、令和5年度の事業の成果と令和6年度の事業計画について、発信力のある報告をいただき、非常に勉強になった。感謝申し上げます。学校では子ども達が活字に触れる機会が減ってきている。7割位の家庭で新聞を取っていないという調査結果もある。新聞を見たこともない子もいる。今の時代はスマホで情報を簡単に手に入れられるが、その反面、読書や人の話を聞くのが苦手な子がいる。図書館の取り組みを参考に勉強しながら、様々な分野で豊かな子ども達を育てていきたいとあらためて感じた。感謝申し上げ、今度ともご指導をお願いする。

7 閉会